



フォレスタージュ 会報

会員みんなで森の木工体験会、楽しい一日でした。

第296号

令和5年

10月1日発行

森林ボランティア フォレスタージュ

<https://forester.foresteruji.org>



九月定例活動

森の木工体験会

活動日 九月十七日(日) 曇時々晴

活動時間 九時三十分〜十四時

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 フォレスタージュ広場

会員十五名

京都府立大学森なかま一名

9/17 左：小枝の椅子作り 中：小枝の椅子作り 右：動くおもちゃの本体作り

九月半ばを過ぎても極めて暑くまた湿気の多い日が続いている。本日の活動では、除伐材などを利用して作品を作ることを通して、材料の特徴や使用する用具の使い方などを体験する。今回の担当である久保田会員から、作る内容と鋸や玄能などの種類とそれらの基本的な使い方についての説明があった後、広場にブルーシートを敷き、思い思いの場所で作業が始まった。

ストックしている色々な材料を使って各自が作りたいものを自由に作ってみる場として、各自が、小枝を使った椅子と車輪を付けた動くおもちゃの材料については予め用意しており、多くの会員がこれらに挑戦した。

小枝の椅子作りの一つは、切り揃えられた二十数本の同種の材質の小枝を組み合わせ釘で固定するものである。ずつと以前にも花台のための椅子として取り組んだことがあり、その経験から小林会員に指導いただいた。釘を打つには電動ドリルで下孔を開けることを予定していたが、たまたま発電機の具合が悪く、対応策として急遽キリを使って手もみが必要となり予定外の大変な作業となった。桜などの広葉樹は針葉樹に比べて硬く、特に切ってから時間が経過するほど硬くなるなどのことである。キリでは十分に孔を開けられず釘が途中で曲がってしまう。結局発電機は最後まで動かず、この椅子作りは途中で時間切れとなってしまった。

事前にチェックはしていても本番ではハプニングはつきものである。が、今回はドリルを使ってでは気付かなかったであろう樹木の硬さについて体で覚えることができたことは一つの貴重な体験ともなった。

より小さい小枝の椅子として、南天の枝を使うものや予め準備された檜の枝を組み合わせるものも作品作りとして加わった。

動くおもちゃについては、市販の丸棒から車輪四個を如何に同じ厚さで平行に切るかが苦労するところであるが、孔開けのための卓上ボール盤が使えず完成までには至らなかった。他には独自に考えた作品のための小枝の切り揃えに取り組み会員もいた。

午前午後を通しての作品作りであったが意外と時間が掛かるものである。未完成のものは後日完成させることとし、締めくくりとして各自手掛けた作品を一堂に並べ、それぞれ苦労した点や感じたことを述べていただいた。

ハプニングもあり工具の整備の難しさや大切さを改めて感じさせられた。身近なところでは、鋸を使用した後は刃についた木くずとヤニ取りの処置を行い必ず元の場所に戻すことを心掛けた。

(記 久保田 敏弘)



9/17 より小さい小枝の椅子の完成



9/17 小枝ハウスと動くおもちゃの作品

九月臨時活動

森の木工体験会の準備

活動日 九月十一日(月) 曇後雨

活動時間 九時二十分～十一時十分

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 会員六名

八月の定例活動に参加できなかった森の木工体験会のリーダーの久保田会員が、木工材料などの最終確認をするとのこと、六名の会員が集合した。すでにより小さい小枝の椅子やゴム輪で動く自動車車体などの部品も制作済みでリーダーの熱意を強く感じた。

林会長は、フォレスターうじの活動の構想として木工技術に長けた会員を中心に木工班を立ち上げたいとのこと。除伐材を利用した作品を制作することは森を守る活動として大切なことだと力説していた。

作業に集中していたところ、スマホ情報で雨が降ると言われ、早々に片づけた。わずかな時間だったが、そこそこに良い準備ができた。



9/17 より小さい小枝の椅子の制作中

(記 木曾 宗統)

エッセイ

「森林」とともに生きる

岡本 浩一

昨年十二月、水野副会長とご一緒した山行で、「天ヶ瀬森林公園で、その保全や整備を通して森林のことを学んだり、楽しんだりしている『フォレスターうじ』という森林ボランティアがあるよ。」と教えていただきました。

これまで野外での活動は好きだったものの、周りの樹木や足元に咲く野花の名前すら知らない私は、とても興味をそられました。

まずは体験、今年二月定例活動で「トーテムポールの色塗りと椎茸植菌」を体験し、三月には「トーテムポールの建柱」と、皆様から優しく迎えていただき、入会を決意いたしました。

四月からは、会員として、伐採作業の安全講習会、森林公園の実態調査と樹名板の取付け、森の落語会や音楽会、工具の取扱要領や害虫対策、山道の歩き方など、これまであまり知らなかったことを、毎回学ばせていただいています。

その後、趣味の山登りでも、全く人の手が加えられていない森林や、植林されていても、間伐など手入れがされているところもあれば、逆にまったく放置状態のところも目に向くようになりました。

そして獣による被害に見舞われ、偏った植生に陥っているところなど、自然な状態から極端な変化への移り変わりを気づかされています。

自然の中ではちっぽけな存在の私ですが、森林の保護と育成にどう関われるのか、これからの活動を通して、しっかりと学ばせていただき、森林とともに成長していきたいと考えています。

今後の活動の案内

令和五年十一月以降の予定です。ぜひ、ご参加ください。

十一月定例活動

十一月十九日(日) 天ヶ瀬森林公園

・天ヶ瀬森林公園の森林整備

十一月特別活動

十一月五日(日) 兵庫県三田市 兵庫県立有馬富士公園

・研修会「緑環境クラブと交流会、他」

十一月二十六日(日) 宇治市生涯学習センター

・宇治環境フェスタに協力

会員募集のお知らせ

フォレスターうじはいつでも会員募集中。

まずは一日体験からどうぞ。事務局までご連絡ください。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア フォレスターうじ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三



編集後記

猛暑、酷暑、とんでもない夏が終わって欲しいと思っていたが、九月の活動日はまだ暑かった。今月も無理をしないようにとみんなで木工体験。でも活動報告にあるように発電機が不調で残念だった。点検の大事さをつくづく感じた。

(会報担当 木曾 宗統)

(写真担当 田中 一夫)